文化的価値の高い6種類の茶碗の高精細3DCGを、70V型8Kディスプレイに表示 実物をリアルに再現した茶碗型コントローラーを自在に動かして、細部まで鑑賞できる 「8K文化財鑑賞ソリューション※1」が愛知県陶磁美術館※2に展示

シャープ株式会社 2022年03月14日

シャープの「8K文化財鑑賞ソリューション」の展示が、愛知県陶磁美術館（愛知県瀬戸市）において、明日3月15日より開始します。

左：愛知県陶磁美術館 外観、右：展示会場（イメージ）

本ソリューションは、東京国立博物館や愛知県陶磁美術館での公開実績がある「ふれる・まわせる 名茶碗※3」に、新たに3作品を加えた6種類の名茶碗を収録したものです。今回の展示では、形状や重さ、手触りまでを再現した茶碗型コントローラーを、6作品すべてに用意。鑑賞したい茶碗のコントローラーを手にとると、70V型8Kディスプレイの画面に茶碗が映し出されます。コントローラーを前後に動かしたり、回転させたりすると、画面上の茶碗の8K 3DCGも連動し、拡大・縮小、回転します。コントローラーの重さを感じたり、触感を楽しんだりしながら、画面では表面の微細な模様や質感をじっくりと鑑賞することができ、各茶碗の持つ魅力を存分に味わえます。

また今般、見る角度や光の当たり方によって色が変化する構造色を、8Kの3DCGで表現する手法を新たに開発※4しました。収録作品のひとつである重要文化財「油滴天目」（九州国立博物館蔵）で、構造色を含む美しい茶碗の色合いを鑑賞いただけます。

名称	表示作品	展示場所	開始日
8K文化財鑑賞ソリューション	・重要文化財「油滴天目」＊ （九州国立博物館蔵） ・「黄瀬戸胴紐茶碗」＊ （愛知県陶磁美術館蔵） ・「黒楽茶碗 銘 尼寺」＊ ・重要文化財「青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆」 ・重要美術品「大井戸茶碗 有楽井戸」 ・「志野茶碗 銘 振袖」 （以上4点、東京国立博物館蔵） ＊今回、新たに追加した作品です。	愛知県陶磁美術館 （愛知県瀬戸市） 本館2F 第3展示室	2022年3月15日

※1 シャープの「8Kインタラクティブミュージアム」をベースに、独立行政法人 国立文化財機構に属する文化財活用センターおよび東京国立博物館と共同開発した鑑賞ソリューションです。美術品や工芸品などの文化財の3DCG画像を、8Kディスプレイに映し出し、拡大・縮小、回転しながら、細部まで鑑賞することが可能です。今回追加で収録された作品は、九州国立博物館、愛知県陶磁美術館の協力・監修のもと制作しました。

※2 入館に関する詳細は、愛知県陶磁美術館のWebサイト（https://www.pref.aichi.jp/touji/use_guidance/ ）をご参照ください。

※3 東京国立博物館にて2020年7月～8月、および11月に実証実験を、愛知県陶磁美術館にて2021年10月～12月に一般展示が実施されました。

※4 学校法人法政大学 情報科学部 ディジタルメディア学科 実世界指向メディア研究室の小池崇文教授の協力のもと、シャープマーケティングジャパン株式会社にて開発しました。（https://corporate.jp.sharp/news/220314-b.html ）

■ 愛知県陶磁美術館の展示「8K文化財鑑賞ソリューション」に収録の名茶碗（6作品）

重要文化財「油滴天目」
中国・南宋時代（12～13世紀）
九州国立博物館蔵

「黄瀬戸胴紐茶碗」
美濃・安土桃山時代（16世紀）
愛知県陶磁美術館蔵

「黒楽茶碗 銘 尼寺」
安土桃山時代（16世紀）
東京国立博物館蔵

重要文化財「青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆」
中国・南宋時代（13世紀）
東京国立博物館蔵

重要美術品「大井戸茶碗 有楽井戸」
朝鮮・朝鮮時代（16世紀）
東京国立博物館蔵

「志野茶碗 銘 振袖」
美濃・安土桃山～江戸時代（16～17世紀）
東京国立博物館蔵